

1 地域医療の充実・強化

- 「妊婦健診等費用助成」や「日帰り型産後ケア事業」(市直営)、「助産院による日帰り及び訪問型の産後ケア事業」等で妊娠から出産後まで切れ目なく支援
- 小児医療費の通院助成を中学3年生まで拡大
- 秦野赤十字病院の医療体制の拡充(常勤小児科医師の増員など)に対する支援
- 救命率の向上などを目的として、医師や看護師が救急車に同乗し重症患者の救命処置を行う「派遣型救急ワークステーション」の運用を開始

2 中学校給食の完全実施

- 市のほぼ中央に整備した給食センター(愛称:はだのっ子キッチン)から、市内9校どこにでも出来立ての給食を配送
- 給食到着から生徒たちが食べるまでの流れをスムーズにするため、完全給食の実施に合わせて全ての中学校に配送用のエレベーターを設置
- 温かい食べ物は温かく、冷たいものは冷たく。生徒により美味しい給食を提供するための食器や食缶を調達
- 12月1日から「安全安心で、生徒が喜ぶ中学校給食」を開始

3 教育水準の改善・向上

- 教職員の多忙化解消に向けスクールサポートスタッフを全中学校区に配置
- 公民連携による授業力向上プロジェクトの立ち上げや教育支援アドバイザーを招いて若手の教職員をフォローアップ
- 国のGIGAスクール構想に基づき、小中学校の児童・生徒一人ひとりに端末を配置
- 教職員への技術的支援を行う「ICT支援員」の配置やデジタル教科書の導入に向けた環境整備を推進

4 小田急4駅周辺のにぎわい創造

- 小田急電鉄との連携による4駅起点終点ツアー開催や秦野を満喫できる「秦野丹沢ハイキングスタンプラリー」の実施
- 秦野駅(県と連携した県道705号の整備促進、曾屋水道記念公園を改修など)
- 渋沢駅(はだの歴史博物館や渋沢丘陵等を生かしたまち歩き)
- 東海大学前駅(北口エレベーター・エスカレーターを設置など)
- 鶴巻温泉駅(大山とのバス季節運行に合わせ、ジビエ料理で観光客をもてなすキャンペーンを行うなど、名湯を生かしたにぎわいづくり)

5 新東名・246バイパスの最大活用

【産業振興】

- 地域特性を生かした企業誘致などを可能とする戸川土地区画整理事業の実現に向けた同準備会への技術支援
- 秦野丹沢SA周辺の道路整備

【地域振興】

- 「はだの丹沢クライミングパーク(ボルダリング施設)」の整備。県施設と合わせて国内有数の施設が誕生
- 「表丹沢魅力づくり構想」の策定
- 森林セラピー基地の認証を受けた5つのセラピーロードの活用
- 登山や自転車愛好家の活動拠点となるヤビツ峠レストハウスの整備